

— 芝浦工業大学 —

2月1日 (火) 前期日程 英語

解答・解説

I

1. a. 2. a. 3. c. 4. a. 5. c.

- 空欄前の A の夕食の誘いを受け、「いいよ。けど遅い時間まで外出したくない」と言っている。
- 空欄に「アナウンス何て言っていたの？」に対して続く B が「搭乗時間が 11 時に変更になった」と言っている。
- 正解 c. の way は副詞で「はるかに、ずっと」という意味。
- 空欄直後の I'm not into movies. は「私は映画に興味がない」ここでの into は「〈物・事〉の熱中している」という意味。
- 空欄直後の B の発言から、B の sister が進路変更して教師になったことがわかる。

II

1. tie 2. season 3. form 4. block 5. tears

- ①名詞「ネクタイ」 ②動詞「〈ひも・ネクタイなど〉を結ぶ」
- ①動詞「〈食物〉を味付けする」 ②名詞「季節」
- ①名詞「用紙・書式」 ②動詞「…を形成する」
- ①動詞「〈道路・出入り口・パイプなど〉をふさぐ」 ②名詞「(コンクリート)ブロック」
- ①名詞「涙」※複数形で s が付いている ②動詞「〈物が〉裂ける」※3人称単数の主語に対応し s が付いている

III

1. a. 2. b. 3. b.

- Taro が生まれたときに母は 40 歳。X 年度後に母は Taro の年齢の 5 倍になる。方程式にすると $5X = 40 + X \rightarrow$ これを解くと $X = 10$ 10 年後の母の年齢は 50 歳。
- 最初の 40 題で 75%の問題で正解しているということは、この時点での正解数は 30。全 60 問で 80%の正解率に達するには、60 問中 48 問の正解が必要。 $48 - 30 = 18$ よって残りの 20 問中 18 問の正解が必要。つまり正解率 90%。
- city D に行くには city C を経由するしか手段がなく、D に行ってどこに行くにしても C を通るしかない。よって D に行く際と D からどこか別の都市に行く際と、2 回 C を通らなければならない。

IV

1. b. 2. a. 3. d. 4. c. 5. b. 6. d. 7. b. 8. b. 9. c. 10. a.

- 「はい、実際私たちは金曜日に (一緒に) 昼食を食べます」
A のセリフの文の時制が現在完了。対応する B は現在時制。現在の習慣を答えている。
- 「私は今年の夏、できるだけ多くの本を読むつもりです」
many の前の as は副詞「同じくらい…」比較表現を含まない分は I will read many books.
- 「議論されている問題は複雑だ」
主格の関係代名詞 that が正解。関係代名詞が導く節は、現在進行形で受動態となっている。
- 「寒い日に長く歩いた後、温かい風呂に勝るものはない」
There is nothing like…「〈事・物〉のようなものはない」★しばしば「…ほどよいものはない」の意で用いられる。
- 「彼らが我々の助けを待っていると分かり、我々はその村へと急いだ」
Knowing 以下分詞構文。
- 「法律の知識がほとんどないので、かれはその問題についてどう扱ったら良いか分からなかった」
Knowledge は不可算名詞。よって few を用いている a. と c. は不可。a が付かない little は「ほとんど…ない」という否定のニュアンスを持つ。

7. 「行儀よくさえしていれば、あなたの子どもたちをセレモニーに連れてきていいですよ」
as long as… 「…する限り」条件を表す if 節との書き換えができる。
8. 「この町は 10 年経てば変わるだろう」
in… 「…経てば」
9. 「疲れているときは、熱心過ぎない程度に働くようにしなさい」
try はあとに to 不定詞を目的語にとって「Vしようとする」という意味。
10. 「昨晚帰宅したとき、ドアが開いていた。私はドアにカギをかけたのを覚えている。だから誰かが家の中に侵入したに違いない」
must have + 過去分詞 「…だったに違いない」助動詞の後に have + 過去分詞の形を置くと【時制のズレ】を表す。

V

1. c. 2. b. 3. d. 4. a. 5. b. 6. a. 7. c. 8. b. 9. b. 10. a.
1. relieve A of B 「A から B を取り除く」
2. severe 「〈天候などが〉厳しい」
3. spoil 「…を台なしにする」本問の文は、受動態になっている。
4. shortly 「[after, before などの前で]少し, ちょっと」
5. clothing 「[集合的に]衣料品」
6. out of business 「倒産して」
7. go back to normal 「正常(平常)に戻る」
8. narrowly 「かろうじて」
9. poor 「不得意な, 下手な」
10. fine 「罰金」

VI

1. A b. B c 2. A c B d 3. A c B e 4. A f B e 5. A b B g
1. **What do you think the climate will be like** in the next 100 years?
2. Both international and local **tourists are becoming** more and more **aware of the value** of preserving the environment.
3. Hokkaido is **the second largest of Japan's largest of four main** islands.
4. **Those with no internet access are left behind** by an increasingly digital society.
5. No **sooner had the actor got off the train than** the TV reporters rushed to him.

VII

- [1] c. [2] b.
- [1] D の文頭 therefore 「それゆえ」に注目し、D の前に B が来ることを見出す。D の friction を受け A の The amount of friction につながり、[1]の直後の Friction also produces heat.へのつながりを考える。
- [2] A の For example 「例えば」に注目。A の前に D が来るのを見出す。ここで D→A となる。加えて B の friction を受け C の This friction へとつながることがわかると B→C となる。

VIII

- ア a. イ c. ウ a. エ c. オ b.
- ア due to… 「…のために, …という理由で」
- イ eliminate 「…を除く」
- ウ 受動態にする。
- エ more 「より多くの…」
- オ as a proof of… 「…の印として」

IX

1. ア d. イ c. ウ b. エ c. オ a.
2. (A) a. (B) d. (C) a. (D) d. (E) b. (F) c.
3. b. e. f. h.
1. ア turn out… 「…だとわかる」

- イ put one's heads together 「額を寄せて話し合う, 一緒に計画を練る」
 ウ carry out 「…を実行する」
 エ come to mind 「〈物・事が〉(突然)頭に浮かぶ」
 オ be involved in… 「…に従事する」
2. (A)to 不定詞の直前の for の句は、不定詞の意味上の主語。
 (B)conventional 「従来の」 d. の traditional 「伝統的な」が最も意味に近い。
 (C)hunch 「直感, 予感」
 (D)前文で言及されている。
 (E)simultaneously 「同時に」 concurrently 「同時に」
 (F)propensity 「…への傾向」 tendency 「傾向」
3. b. は厳密には一致しているか微妙なところではあるが(親の支持が増えたとはあるが、faster とまでは言っていないので)、正解は4つあるということで、他の選択肢との比較の上、正解であると判断しました。

総 評

- I 会話文中に適する文を挿入する問題です。一部に分かりづらい表現はあったものの、概ね標準レベルです。
- II 同綴異義語を書かせる問題です。書かせる単語の綴り自体は平易なのですが、普段から丁寧な語彙学習をしていないと、思い浮かべることができない…といったことになりそう。
- III 英文で書かれた算数・数学的な問題を解く問題。適切な式や図を書いて、全問正解を目指したいところです。
- IV 短文適語補充選択問題です。文法力が試されています。やや選びづらいと感じる問題もあるかもしれませんが、概ね標準レベルくらいです。
- V IVと同様の形式ですが、こちらは語彙力がポイントと言えそうです。こちらも大問IVと同じくらいのレベルです。
- VI 整序英作文問題です。4がやや難しかったかもしれません。他はすべて正解したい問題です。
- VII 文章整序問題です。いわゆるディスコースマーカーに気をつけて、文と文のつながりを見出していけば、正解を導き出せるはずです。
- VIII 長文空所補充問題です。ポイントは語彙力です。
- IX 長文総合問題です。それなりの words 数で読むのは大変ですが、しっかり時間を確保して落ち着いて解き進めたいところです。標準レベルです。

～全体を通して～

昨年度とほぼ同じレベル・形式でしたが、異なる点を挙げるなら、英文和訳問題がなくなってことと、大問Vの語彙のレベルがやや上がった…といったところでしょうか。いずれにしても90分という長い時間を、いかに有効に使えるかという点は、非常に大切であることに変わりはありません。